



# 華となれ!

宮城県仙台二華中学校  
 学校だより 第14号  
 【発行日】 令和2年1月21日  
 【連絡先】 022-296-8101  
 【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

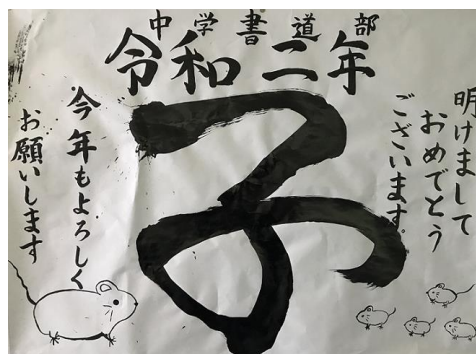
## 新年を迎えて 書道部の作品が新年の幕開けを祝っています

いよいよオリンピックイヤーとなる2020年が幕開けしました。今年もよろしくお祈りいたします。

本校では、1月7日(火)に開講式が行われ、県内の多くの中学校よりも一足先に、新年の授業が始まりました。開講式のあとには、さっそく実力テストが行われたので、生徒の正月気分もいっぺんに吹き飛んだと思います。

実力テストを受けている生徒の様子を見ようと、2階の廊下に出てみると、そこには、書道部の新年の作品が飾られていました。書道部は、廊下の展示スペースを使って、年間を通じてその時節に似つかわしい作品を展示しています。今回の2作品も、新年を祝うすばらしい作品です。伸びやかで勢いのある運筆からは、中学生らしい思い切りの良さや、活力が感じられます。

冒頭にも書いたように、今年がオリンピックイヤーです。この夏には日本中で歓喜の声があがり、喜ばしいニュースがたくさん伝えられることでしょう。二華中にとっても、今年が躍進の年となるようにしていきたいと思えます。保護者の皆様の変わらぬ御支援を、本年もよろしくお祈り申し上げます。



千支のネズミがかわいらしいです



のびやかな運筆がすばらしいです。

## 冬季休業明け 生活リズムを整えましょう

冬季休業が明けて2週間以上たちます。冬季休業明けは、寒さの厳しさから遅刻や時間ぎりぎりの登校が目立ちがちなのですが、本校ではそれほど多くはなっていないようです。課題の提出が遅れがちなのはいても、多くの生徒は担当の教員に理由を話し、いつまでに提出するかを決めているようです。

一方で、教員が遅刻や課題の未提出よりも心配しているのが、生活リズムの乱れです。授業が始まっても、眠そうにしている生徒や、授業中の意見交換の時間でさえもあくびが出ている生徒が散見されます。心配した担任が、個別面談等で眠そうにしている理由を本人に聞いてみると、

冬季休業中に、スマートフォンのオンラインゲームや、動画配信アプリ等に没頭して、生活リズムを崩してしまったと話す生徒が多いようです。

宮城県教育委員会が昨年7月に県内の公立高に通う1, 2年生に実施した「2019年度学力学習状況調査」の結果では、1日にスマートフォンを2時間以上使用する生徒が半数を超え、過去最高を記録しました。「学習の悩み」に「集中できない」と回答した生徒が、「家庭で最も時間をかけていること」を聞くと、1年生の61.6%, 2年生の63.9%が「スマホのメールやゲーム, インターネット」を選択しています。

『2時間の学習効果が消える！やっではいけない脳の習慣』（横田晋務著 川島隆太監修 青春新書 2016年）では、たとえ平日に2時間以上勉強しても、1日に4時間以上スマートフォンを使っていると、勉強はほとんどしないがスマートフォンを使わない子どもの成績と同じか、それ以下の成績になってしまうことが紹介され、社会に衝撃を与えました。

スマートフォンはたいへん便利なツールですが、中学生には、家庭で何らかの約束がなければ、学力に悪影響を及ぼす危険性があります。以前から言われていることですが、夜は家庭のリビングで充電し、自分の部屋には持ち込ませないとか、1日の使用時間を決めるなどの工夫をして、くれぐれもスマートフォンで生活リズムを崩すことのないように、お声がけをお願いします。



右：『やっではいけない脳の習慣』（青春新書）  
左：『スマホが学力を破壊する』（集英社新書）  
どちらもスマホの利用の留意点に分かる良書です。

## もっと英語に親しもう まずは3年生を対象に英語の多読用図書を教室に設置

今年度、二華中高では英語の多読用の図書を723冊購入しました。英語の多読法とは、読んで字のごとくたくさんの英語を読むことです。英語をシャワーのように浴び、大量のインプットをすることにより、英語の知識や流暢さが増すことが期待できます。今回購入した700冊以上の本は、小学生でもなんとか読めるレベルから、かなり難しいエッセイが掲載されているものまで、多くのレベルが取りそろえられているので、誰でも自分にあった本を読むことができます。

中学校では、多くの生徒に本を手にとってもらって、有効に活用したいと考え、まずは3年生を対象に、図書委員会の協力を得て、各教室に10~20冊ずつ設置するようにしました。図書委員がいろいろなレベルを数冊ずつ選び、各クラスの専用ケースに入れて設置しています。本は1週間たつとケースごと隣のクラスに移動するので、生徒たちはたくさんの本と出会うことができます。朝読書の時間や休み時間を利用して、主体的な英語学習につなげてほしいと思います。今年度中を目標に、1・2年生にも同様の取組を広げていく予定です。

英語の多読法については、東北大学附属図書館のホームページ ([www.library.tohoku.ac.jp/collection/readers/](http://www.library.tohoku.ac.jp/collection/readers/)) にも詳しく掲載されています。興味のある方はぜひ御覧ください。



英語の多読用図書



さっそく手にとってみる生徒たち